

国際ユース年

2010年8月12日～2011年8月11日

対話と相互理解



国際連合

「教育への全面的なアクセス、十分な保健医療、雇用機会、金融サービス、そして市民生活への全面参加という私たちの若者への約束は、すべて実現されなければなりません」

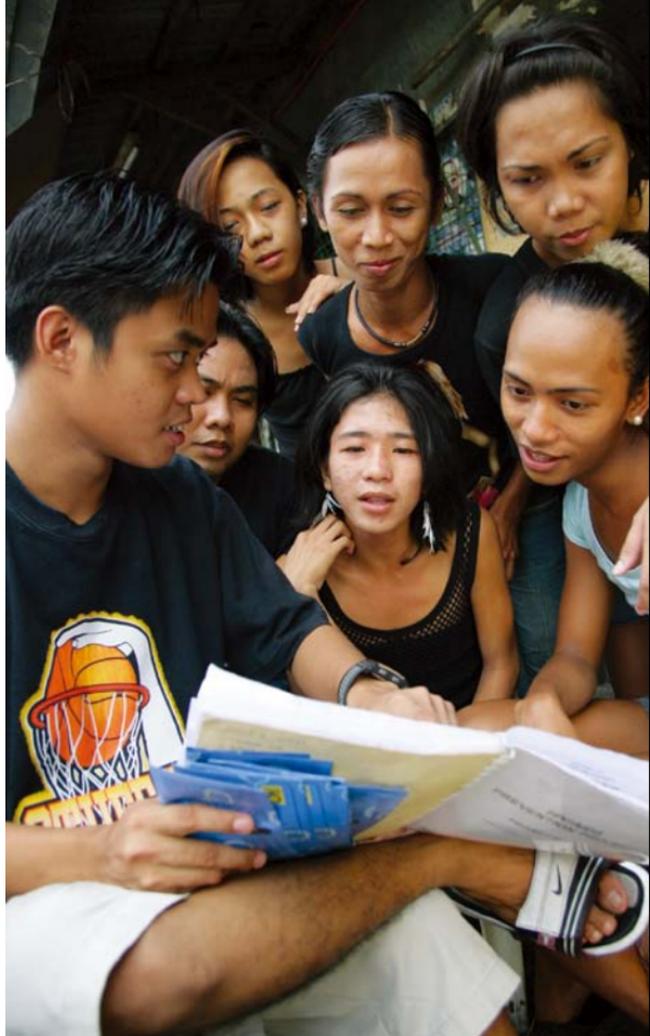
パンギムン
潘基文 国連事務総長

2010年8月12日から2011年8月11日の1年間は「国際ユース年」に当たります。すべての人々に果たすべき役割があります。

「国際ユース年」とは

2009年12月、国連総会は決議64/134を採択し、国際社会が若者に関する様々な課題が世界的、地域的、国内的な開発課題に取り込まなければならないことを強調して、「国際ユース年」を宣言しました。「国際ユース年」のねらいは、「対話と相互理解」というテーマのもと、平和、人権の尊重、そして世代や文化、宗教、文明を越えた連帯という理想を推し進めることにあります。

世界は金融、安全保障、環境その他の社会経済的課題をはじめ、多くのしばしば重なり合う危機を抱えており、これによって国際的に合意された開発目標の達成が阻まれています。若者に投資し、若者と連携することは、持続可能な形でこれら課題に取り組む際の鍵となります。



「私たちは取り組みを広げる中で、若者に手を差し伸べ、若者の声を聞き、若者から学んでいくよう、さらに努めなければなりません」

潘基文・国連事務総長

なぜ若者か

国連は15歳から24歳の人々を若者と定義しています。現在、若者は世界人口の18%に当たる12億人に上ります。若者のうち87%は開発途上国に暮らし、資源や保健医療、教育、訓練、雇用、経済的機会へのアクセス不足が生み出す課題に直面しています。

国連加盟国は、すべての国の若者が開発、より良い社会への向上、技術革新にとって重要な人材であることを認識しています。若者の理想、活力、そしてビジョンは、社会の継続的な発展に欠かせません。

若者は単に変革の恩恵を受けるだけでなく、実際に変革をもたらす主体的な役割も担います。一途で情熱的、しかも想像力に富む若者は、社会の最重要課題への取り組みを通じて、開発に貢献しています。





若者たちの取り組みは、自らのコミュニティでの貧困・飢餓対策、若者同士の教育を通じたHIV／エイズまん延の防止、そして環境保護の推進に寄与してきました。若者はまた、文化的、政治的背景を異にする人々の対話と理解、尊重の促進も先頭に立って進めています。

若者は、環境に優しく健康的なライフスタイル、携帯電話やオンライン・ソーシャル・ネットワークをはじめとする先端技術の革新的な利用の促進、インクルーシブな社会の発展を促すための格差是正など、多くの模範を自ら示すことによって、リーダーシップを発揮しています。コミュニティや国家、地域、さらには世界の発展に対する若者の貢献を認識、奨励しなければなりません。

国連加盟国はこのことを念頭に、また、これら課題にどのように取り組み、若者の潜在能力をどのように発揮させていくかが、社会と経済の現状に直接に影響を及ぼすという認識に立ち、「国際ユース年」を宣言したのです。

「多くの若者は社会から疎外されて孤立し、グローバル化で生まれる機会から排除されている」

総会決議 62/126

若者と国連

国連は1985年、第1次「国際ユース年」を祝いました。それから10年後、総会は「青年に関する世界行動計画」を採択し、若者の状況を改善するための国内行動や国際支援に関する政策枠組みとガイドラインを定めました。

「青年に関する世界行動計画」は今日、若者の育成に大きな役割を果たしています。特に、若者に関連する分野における各国の能力を強化し、若者が全面的、実効的かつ建設的に社会へ参加できる機会を質的、量的に改善するための措置に重点が置かれています。

ユース(若者)に関する世界行動計画の15の優先領域

教育
雇用
飢餓と貧困
保健
環境
薬物乱用
少年非行
余暇活動
女兒と若い女性
参加
グローバリゼーション
情報通信技術
HIV／エイズ
若者と紛争
世代間関係





© UNFPA

「国連青年計画 (United Nations Programme on Youth)」は、国連の若者に関するフォーカル・ポイントとして、政府間の政策立案の支援、解析的研究の実施、「青年育成に関する機関合同ネットワーク (Inter-Agency Network on Youth Development)」を通じた国連機関同士の協力と交流の強化による国連の若者育成活動の効果改善など、若者の育成に資する幅広い活動を展開しています。

「国際ユース年」に あなたが果たせる役割

若者の育成とミレニアム開発目標（MDGs）の達成に向け、平和、自由、進歩、連帯という理想を追求することは、あらゆる人々に期待されています。

国連加盟国は、国内で「国際ユース年」の記念行事を開催し、国家の発展に対する若者の重要な貢献について、世論の啓発を図るよう促されています。

加盟国はまた、「青年に関する世界行動計画」の全面実施を図るため、国内の若者育成に関する政策とプログラムを見直すことも促されています。





UN Photo/Martine Perret

若者と若者を中心とする組織は「国際ユース年」とそのテーマに関する活動に自発的に取り組み、これに参加するよう促されています。



حجرة قهوة
نقطة
...ATION
...ينه

موظفو
STAFF

مقتراع
...LLIN
...



- **イベントの開催**：イベント推進に関する手引きと効果的な戦略については、「活動キット」をお役立てください。
- **公式行事日程へのイベント掲載**：国際年の公式日程にイベントを掲載し、国連に公式ロゴの使用申請を提出してください。



INTERNATIONAL
**YEAR of
YOUTH**
AUGUST 2010-2011
OUR YEAR OUR VOICE

UN Photo/Sophia Paris





- **地域でのイベント参加**：自らのコミュニティでどのような活動が行われるか、また、世界の他地域でどのような国際年記念行事が開催されているかをお知りになりたい方は、公式日程をご覧ください。
- **世論の啓発**：公式ウェブサイトから「国際ユース年」のバナーをダウンロードし、ウェブページにリンクを張ってください。オンラインのソーシャル・ネットワーキング・ツールを用いて、国際年を広めてください。
- **オンライン・ディスカッションへの参加**：フェイスブックの月例協議（facebook.com/UNyouthyear）に参加し、さまざまな問題に関する意見を交換してください。これまでのディスカッションでは、低コストでできるな活動の実施、コミュニティ・レベルでの若者の参加と代表の実効性改善、世論啓発を図るためのメディアへの働きかけ、国際年の公式スローガン「私たちの年、私た

ちの声（Our Year. Our Voice）」に関する提案が中心的な議題となっています。

- **指導者へのアピール**：政策決定者と会って、相互理解の発展と醸成に若者が参加することの重要性をアピールしてください。
- **「ユース・フラッシュ」の購読**：国連システムと全世界の青年団体の活動に関する最新情報を入手してください、「国連青年計画」の月刊メール・マガジンはwww.un.org/esa/socdev/unyin/flash.htmで購読できます。
- **働きかけ**：周囲の人々と、その文化や宗教について話し合ってください。友人にも同じことを働きかけてください。

その他の活動や、国際年関連の活動資料のダウンロードについては、国際年の公式ウェブサイト（social.un.org/youthyear）をご覧ください。

「社会各層の人々すべてが、若者に影響する様々な課題についての対話に加わる1年間、そして、私たちすべてが尊敬をもって耳を傾け、尊厳をもって発言できる1年間を想像してみてください。「国際ユース年」はまさにその機会です。私たちが意見を口に出し、その声をまとめ、そして聞いてもらう年がやってきたのです。この機会を無駄にしてはなりません」

国際青年団体調整会議 (ICMYO)

加盟団体パクス・ロマーナの
クリストファー・デリーヘ・マラーノ氏

今後の動き

「国際ユース年」(2010年8月12日から2011年8月11日)は、ニューヨークの国連本部と世界各地でのオープニング・イベントで幕を開けます。この行事は、若者の開発への貢献を大々的に紹介し、「青年に関する世界行動計画」の実施を促進するものとなります。

「国際ユース年」では、**国連青年会議**(UN Conference on Youth)が中心的な役割を果たします。

その他全世界で、国際年の記念行事が多く予定されています。さらに詳しい情報については、social.un.org/youthyearの公式行事日程をご覧ください。



Published by the United Nations, New York
Translated by the United Nations Information Centre in Tokyo, Japan

日本語版制作：国際連合広報センター (UNIC)
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-70
国連大学本部ビル8階
電話：03-5467-4451
<http://www.unic.or.jp>

